

大阪あゆみ福祉会 2022 年度事業報告

2022 年度も新型コロナウイルス感染症と折り合いを付けながら保育や行事を迎えた 1 年でした。春から初夏、年末は新型コロナウイルス感染症が各園でも発症し、冬はインフルエンザが猛威を振りました。他にも RS や溶連菌、おたふく、ノロウイルス、アデノウイルス、ヒトメタニューモウイルスなど様々な感染症が一年を通して発症しました。新型コロナウイルス感染症以外での多発は久々でした。

そのような中、**秋の運動会**では久しぶりに小学校のグラウンドをお借りして全クラスが参加しました。**冬の発表会**でも感染症が流行る時期だけに悩みましたが、職員との意見交換を繰り返し、0~5 歳児クラスが参加しました。これらの行事を通じて保護者には、子ども達が友だちと協力して楽しく遊んでいる姿、緊張しながらも友達や先生に支えられて頑張っている姿を見てもらうことができたと思います。わが子の成長を「来年になったら・・・」「再来年は・・・」とイメージができ、自身の子育ての見通しを膨らませることができる機会でもあり、保護者の成長の場でもあると感じます。保護者のアンケートでは「他のクラスを見られて良かった」「先のイメージが広がった」など感想が多く、不安を感じながらも全クラス参加で取り組んで良かったと確信を持ちました。

財政的には、ここ数年 0 歳児定員割れや公定価格の単価減少により収入面が上がりにくい状況が続いています。出来るだけ大阪市の補助金や助成金を申請して獲得するなど努力をしてきたので、昨年度よりも収入を上げることができました。しかし、支出面では職員昇給や各園でも派遣職員を採用するなど人件費が増えた上に、物価高騰も加わり収入以上に負担が大きくなり運営がかなり厳しい一年となりました。また、昨年度の決算であゆみ東保育園の大阪市補助金の未収金を二重に計上する入力ミスがあり、今年度の決算で特別損失として修正をしました。

職員の処遇改善としては働きやすい職場作りを目指して組合と協議しながら、リフレッシュ休暇について意見交換をし、話し合いを進めてきました。お互いの意見をすりあわせてあゆみ保育園でも 2023 年度からリフレッシュ休暇が就業規則に明記されました。

法人としては本部設置の問題や事業計画の中長期計画作成など課題が山積みになっています。改善に向けて理事会で時間をかけて検討する必要があると考えています。

その他

少子化対策が問題になっていますが、保育士の待遇改善は遅々として進まず、今年も、配置基準改正の予算すら計上されず来年度に持ち越され、慢性的な保育士のなり手不足は深刻です。当法人も保育士確保、特に正規職員の獲得に力を入れなければいけないと思っています。

5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症が 2 類相当から 5 類へ代わり、インフルエンザと同等の感染症として扱うことになりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まったわけではなく、集団生活を送っている保育園としては先の見えない不安や恐怖心が増している状況です。感染予防や感染症対策など日常より意識しながら、安全に保育が行えるよう努力していきたいと考えています。

2022 年度事業報告資料

別紙 1 2022 年度法人活動記録

別紙 2 2022 年度法人・施設体制担当者名簿

別紙 3 2022 年度三者懇談会報告（各園別）

別紙 4 労働組合との話し合い報告

別紙 各園の報告①～⑦

①年間行事結果表 ②各月初日児童在籍数 ③児童出欠率表 ④病気・ケガ報告表 ⑤職員休暇取得状況表 ⑥職員研修参加状況表 ⑦職員との個人面談まとめ（自己評価・アンケートより）